

平成22年度 シラバス  経済学 (Economics)	学年・期間・区分	5年次・前期・B群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科	
	担当教員	八木 正 (Yagi, Tadashi)	
	教員室	非常勤講師室 ( 42-2167 )	
	E-Mail	yagi@tan.iuk.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (200分)〕 × 18回		
〔本科目の目標〕 20世紀、資本主義経済はどんな発達を遂げ、現在にいたっているのか。基礎的な概念を理解したうえで、その生産力の現段階、グローバル化、情報や環境と経済との関係など、現実の日本や世界の経済について学習するとともに、未来を展望する新しい動きをみる。			
〔本科目の位置付け〕 現代社会を生きるための基礎的知識として経済の諸問題を考える素養を身につけ、社会の様々な事柄に関心を持つことができるようにする。			
〔学習上の留意点〕 プリントを配布して講義する。授業内容にまた現代経済の実態を知るために、ビデオを積極的に使用する。また講義内容を理解しているか、どんな感想を持ったかをチェックするために、毎回の授業で感想文を書いてもらう。この感想文も成績評価の一部とする。			
〔授業の内容〕			
	授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
	1. 経済学を学ぶにあたって	2	経済学とは何か、社会のしくみと変遷、20世紀の生産力の到達点について理解できる
	2. 商品と貨幣・価値と価格	2	スミス「見えざる手」、労働価値論、商品と貨幣、需要と供給、地域通貨について理解できる。
	3. 貨幣の資本への転化・剰余価値の生産・資本蓄積	4	二重の意味で自由な労働者、労働力商品の価値、労働過程と価値増殖過程、協業、機械制大工業、大量生産、フォードシステム、トヨタシステム、サービス残業、過労死について理解できる。
	4. 再生産と恐慌・景気循環、経済格差	4	貧困化、相対的過剰人口、剰余価値と利潤、平均利潤法則、ジニ係数、ワーキングプア、非正規雇用について理解できる。
	5. 競争と独占・金融資本、国家・財政・地域経済	4	生産の集積集中、独占利潤法則、植民地再分割、帝国主義戦争、世界恐慌、国家とは何か、租税と国債、財政赤字、消費税、政官財癒着、不正支出、情報公開について理解できる。
	---中間試験---	2	授業項目1~5について達成度を確認する。
	7. 株式会社の経営・企業集団	4	株主総会、財務諸表、連結決算、下請け、ポートフォリオ、粉飾決算、インサイダー取引について理解できる。
	8. カジノ資本主義・多国籍企業とグローバル化	4	規制緩和、金融ビッグバン、土地投機、不良債権、外国貿易と対外直接投資、産業空洞化、ヘッジファンド、デリバティブについて理解できる。
	9. 情報化社会と経済	4	デファクトスタンダード、産業ロボット、POSシステム、知的財産権、オープンソースビジネスモデル、サーチエコノミー、Web2.0、ロングテール、クラウドコンピューティングについて理解できる。
	10. 環境問題と経済	4	公害と公害輸出、地球環境破壊、公共事業、環境アセスメント、エコビジネス、リサイクル、再生可能エネルギーについて理解できる。
	---期末試験---	2	授業項目7~10について達成度を確認する。
	試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕授業で随時プリントを配布する。			
〔参考書・補助教材〕随時指示する			
〔成績評価の基準〕中間・期末試験成績 (60%) + レポート成績 (40%) - 授業態度 (最大15%)			
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 1-a			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-1, 2-1			
〔JABEEとの関連〕 (a)			